

研修名 ICT施工および災害対応における最新技術の活用事例

◆ 研修区分	専 門
◆ 対象者	県職員・市町村職員・建設業・建設コンサルタント
◆ 定 員	80名
◆ 開催日	2025年11月12日(水)

目 的 国土交通省が推進している施策(建設DX、BIM/CIM、i-Construction)の説明と現場で適用した事例を紹介する。インフラ構造物の施工・維持管理段階で、最新計測技術を適用した事例および大規模災害への対応事例を通して理解を深める。

会 場 Web開催
受 講 料 2,200円(税込)
この研修は土木学会継続教育(CPD)認定プログラム(予定)です。

◇11月12日(水)

9:15 ~ 9:25		受付(順次入室許可)	
9:25 ~ 9:30	5	オリエンテーション	企画調査部調査研修課
9:30 ~ 10:30	60	国土交通省のICT施策 ・建設DXの概要説明 ・BIM/CIMの原則適用 ・i-Constructionの概要説明	株式会社 建設経営サービス
10:30 ~ 10:40	10	休 憩	
10:40 ~ 12:00	80	・BIM/CIMの現場適用事例(高架橋、山岳トンネル工事) ・4次元・5次元BIM/CIMの現場適用 ・i-Constructionの現場適用事例(土工事) ・国産ドローンの推奨、ひび割れ調査、長時間飛行ドローンによるインフラ点検 ・準天頂衛星(みちびき)の利用促進	
12:00 ~ 13:00	10	昼食・休憩	
13:00 ~ 14:10	70	・ICT施工の概要と適用重機の説明 ・小規模ICT施工の説明 ・SAR衛星による地表面変位計測技術 ・グリーンレーザ、MMSの活用事例(河川工事) ・地中レーダによる地中空洞調査技術	
14:10 ~ 14:20	10	休 憩	
14:20 ~ 15:30	70	・航空レーザ測量とGISを用いた森林管理システムへの適用 ・国土交通省(BIM/CIM)のシステム化の方向性 ・最新の計測技術を用いた近年の災害対応(熱海盛土崩壊の事例) ・能登半島地震の被災概要 ・能登半島豪雨の被災概要 ・災害画像データの標準化を目指して	
15:30 ~ 15:40	10	修了手続き	企画調査部調査研修課

◎ 講義に必要なもの

◎ 備 考

この研修について確認や質問等がある場合は、企画調査部調査研修課まで電子メールをお送りください。
(E-mail:kensyuu@niigata-ctc.or.jp)